



THE ONE MAKE RACE FESTIVAL 2022 FUJI

23-24 July 2022



Fanatec GT World Challenge Asia
powered by ASW
Round 5

FANATEC
GT
WORLD CHALLENGE
POWERED BY
aws



FANATEC GT WORLD CHALLENGE ASIAは、セパン・鈴鹿・富士・SUGO・岡山と全5戦で行われ、コロナ禍で中止になっていたが3年ぶりにここ富士にも帰ってきた。土曜日の午前中にRound5-6の予選が行われ、Round5のポールポジションはGT3クラス#777 CarGuy Racing Takashi Kimura/Kei Cozzolino 組。フロントローには#27 Yogibo Racing Naoki Yokomizo/Kiyoto Fujinami組。GT4 Silver-Amは総合18番手の#55 Team Scaia Jun Tashiro/Tatsuya Tanigawa組。GT4 Amは総合20番手の#71 Akiland Racing Masayoshi Oyama/Makio Saito組という結果になっている。Round5はスタートドライバーをジェントルマンドライバーが勤めることになっている。14:45に60分+1週のレースはスタートが切られ、上位陣の接戦の中2周目にトップに出たのは#27YokomizoはGT3-Silverクラス。

4周目には#27の後ろには#18 EBM Racing、3番手には#19 B-Max Racingというポジションになった。その3台が前半はトップ争いのバトルを続け14周回した頃、スタートから25分が経過し、ピットオープンの時間となり各マシンが続々とピットにドライバー交代のために戻ってくる。19周回目に35分が経過し、ピットウィンドウが閉鎖させるとチェッカーを目標して各マシンも猛チャージ。20周目に激しい戦いを見せていた#777 Keiが最終コーナーから横に並んで#27 Fujinami の前に出て、トップの座を奪いかえし、その後徐々に後続との差を広げてトップチェッカーを受けた。GT4 Silver-Amクラスは#12 Kosido Racing Motoharu Sato/Katsuyuki Hiranakaが優勝。GT4 Amクラスは#71 Akiland Racingの優勝。

GT3



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト Overall

Rank No.	Name
1	777 CarGuy Racing
2	27 Yogibo Racing
3	18 AAS Motorsport
4	99 Triple Eight JMR
5	30 Porsche Center Okazaki
6	47 D'station Racing



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト Pro-Am

Rank No.	Name
1	777 CarGuy Racing
2	99 Triple Eight JMR
3	30 Porsche Center Okazaki
4	47 D'station Racing
5	22 Audi Sport Asia Team X Works
6	888 Triple Eight JMR



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト Am

Rank No.	Name
1	2 Team Uematsu
2	51 AMAC Motorsport
3	7 Comet Racing
4	666 Bingo Racing



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト GT4 Silver-Am

Rank No.	Name
1	12 Koshido Racing
2	55 Team Scala
3	14 GTO Racing Team
4	33 Team GMB



Winner



2nd



RESULT リザルト GT4 Am

Rank No.	Name
1	71 Akiland Racing
2	4 Comet Racing

Fanatec GT World Challenge Asia
powered by ASW
Round 6



日曜日に開催されたRound6のポールポジションは#777 CarGuy Racing。フロントローには、#47 D'station Racing Satoshi Hoshino/Tomonobu Fujii 組が並ぶ。GT4 Silver-Amは総合18番手から#12 Koshido Racingがクラストップからのスタート。GT4 Amクラスは総合21番手から#71 Akiland Racing。Round 6ではスタートドライバーをプロドライバーが勤めることになっている。13:10より60分+1周の熱い火ぶたが切られた。今回はスタート直後から追従を許さない#777 Keiが周回ごとに徐々に後続との差を広げ、ピットオープン直前の14周目には2番手に7秒以上のマージンを稼ぐも、ピットウィンドウ閉鎖直前にピットイン。そこから

追従を試みたが、3位でフィニッシュとなった。ドライバー交代のためのピットインでトップに立ったのは、#99 Triple Eight JMR H.H. Prince Abdul Rahman Ibrahim/Nick Foster組。快調に周回を重ね、2番手に7.8秒差をつけてそのまま35周を走り切りトップでチェッカーを受けた。他のクラスはGT3 Am #19 Reap Fueling Ambitions Hiroshi Hamaguchi/Mineki Okura組。GT4 Silver-Amクラスは総合17位の#55 Team Scaia Jun Tashiyo/Tatsuya Tanigawa組。GT4 Amクラスは#71 Akiland Racingの優勝。



RESULT リザルト Overall	
Rank No.	Name
1	99 Triple Eight JMR
2	30 Porsche Center Okazaki
3	777 CarGuy Racing
4	27 Yogybo Racing
5	18 AAS Motorsport
6	16 ABSSA Motorsport



RESULT リザルト Am	
Rank No.	Name
1	19 Reap Fueling Ambitions
2	2 Team Uematsu
3	7 Comet Racing
4	51 AMAC Motorsport
5	666 Bingo Racing



RESULT リザルト GT4 Silver-Am	
Rank No.	Name
1	55 Team Scaia
2	12 Koshido Racing
3	33 Team GMB
4	14 GTO Racing Team



RESULT リザルト GT4 Am	
Rank No.	Name
1	71 Akiland Racing
2	4 Comet Racing



Ferrari Challenge Asia-Pacific Round 2



RACE 1



RESULT リザルト P-AM

Rank No.	Name
1	52 Nobuhiro IMADA
2	2 Yudai UCHIDA

RESULT リザルト S

Rank No.	Name
1	100 Kanji YAGURA
2	150 Kazuyuki YAMAGUCHI
3	192 Kuninari MORI
4	193 Atsushi IRITANI
5	124 AKITA
6	105 Motohiko IZOZAKI

RESULT リザルト S-AM

Rank No.	Name
1	160 Masa KATSUMATA
2	161 Ryuichi KUNIHIRO
3	111 Andrew MOON
4	127 Shigeru KAMIUE

日曜日に行われたRace2では、ポールポジションはP-AMクラス#2 Yudai UCHIDA。フロントローには#52 Nobuhiro IMADA。3番手にSクラスストップで#105 Cornes ShibaのMotohiko Isozaki。S-AMクラスは10番手#111 Andrew MOONというスタート順となった。好天の中15:00過ぎに熱い戦いの火ぶたが切られた。スタート直後コカ・コーラコーナーでアクシデントがあり、オープニングラップをトップで戻って来たのはSクラス#150 Kazuyuki YAMAGUCHIで、背後には#52 IMADA。#2 UCHIDAは最下位まで順位を落としてしまう。3周目には

#52 IMADAがトップに立ち、そこからは後続との差を徐々に広げた。P-AMクラスでは2周目に#160 Masa KATSUMATAがクラスストップに立つが翌周には#111 MOONが奪い返す。その後も各クラスストップのマシンは後続を引き離しにかけ、タイム差を広げていく。レース後半ではコンスタントにラップを重ね、順位の変動はあまりない状態になっていき、30分+1周の決勝は18周回を重ねて総合・P-AMクラスは#52 IMADAが優勝。Sクラスでは総合2位で#150 YAMAGUCHIの優勝、S-AMクラスは総合8番手で#111 Andrew MOONが優勝した。

RACE 2



RESULT リザルト P-AM

Rank No.	Name
1	52 Nobuhiro IMADA
2	2 Yudai UCHIDA

RESULT リザルト S

Rank No.	Name
1	150 Kazuyuki YAMAGUCHI
2	128 Motohiro KOTANI
3	124 AKITA
4	100 Kanji YAGURA
5	192 Kuninari MORI
6	193 Atsushi IRITANI

RESULT リザルト S-AM

Rank No.	Name
1	111 Andrew MOON
2	127 Shigeru KAMIUE
3	161 Ryuichi KUNIHIRO
4	160 Masa KATSUMATA

N1500/N1400/N1000

Audi A1 Fun Cup

Round 2



RESULT リザルト N1000

RankNo.	Name
1	49 鈴木 翔也
2	48 河合 宏太

RESULT リザルト N1400

RankNo.	Name
1	3 山田 大輔
2	26 サイトウ カズミ
3	5 水谷 明彦
4	78 小松 響
5	59 加藤 隆始

RESULT リザルト Audi A1 Fun Cup

RankNo.	Name
1	107 森 花海
2	109 藤田 真哉
3	105 イシカワヨシオ
4	104 飯島 宗久
5	102 森 慎一
6	110 金本 きれい



JAF-F4

Round 6



RESULT リザルト F4

RankNo.	Name
1	6 佐々木 孝太
2	5 佐藤 樹
3	19 ハンマー伊澤
4	72 金井 亮忠
5	92 黒沼 聖那
6	3 新倉 涼介



RESULT リザルト F4 Gentleman

RankNo.	Name
1	38 安井 和明
2	55 河野 靖喜
3	9 KAMIKAZE
4	16 ISHIKEN
5	8 米谷 浩

北は十勝から西は岡山まで全国6か所のサーキットを転戦して行われるこのシリーズ、今回は第6戦となっており、ちょうど前半折り返しの大事な一戦。日曜日の予選で総合トップタイムを出したのはここまでランキングトップの#6 ファーストガレージ&ISP 佐々木孝太 1'43.985 フロントローには#19 令和雪合戦ハンマー R☆ハヤテ ハンマー伊澤 1'44.064 で並ぶ。Gクラスでは#38 NAVY★RK-01 安井和明が総合7番手1'45.814でトップからのスタート。決勝ではホールショットは#6佐々木が押さえその背後では激しい2番手争いとなり、オープニングラップを終えた時点では2番手に#72 チームNATS・正義・001 金井亮忠がつける。3周目終了時点では#5 MARUSAN★ミスト 佐藤樹が0.2秒差で先にコントロールラインを通過。その後も2位争いバトルは続き6周目に#19ハンマーが3番手につける。レース後半も2番手争いを後目に逃げる#6佐々木とその後ろで2番手争いが続き、13週の決勝は#6佐々木、#5佐藤、#19ハンマーの順でチェッカーとなった。Gクラスではトップからスタートの#38 安井が2番手の#55 ハンマーレーシング☆RISING 河野靖喜に1.6秒の差をつけてそのまま優勝した。レース後#6佐々木は「この暑さで体力はキツかったです。なんとかポイントリーダーは死守しました」と話し、Gクラス優勝の#38 安井は「木曜日からセットを替えてみました。予選でもさらに替えてみましたが、思っていたより他のレースのせいなのか路面が変わっていて合わせるのに大変でした。速い人がある中で優勝出来て嬉しいです」と語った。

86&BRZ FUJI 86BRZ Challenge Cup Round 3



今シーズンの後半戦に入った第3戦をむかえるこのカテゴリー。日曜日朝一番の変更になった予選で、トップタイムを出したのが富士86&BRZチャレンジカップ JP-2Rクラス#99 プロコンポジットBLITZ86 小野田貴俊 2'01.231。フロントローには同じJP-2Rの#8パワークラブトBLITZ86 古田聡 2'01.707が並ぶ。3番手にJP-2Sクラスの#16 HMRスポーツカー専門店BRZ ISHIKEN 2'01.795。4番手に86&BRZクラストップの#312 埼玉自動車大学校MS86 松本晴彦 2'01.860といった結果になった。決勝ではやはりトップ2台はオープニングからバトルを続けるが、毎週回コンマ差で#99小野田が押さえる流れ、その後ろでは#16 ISHIKENを3周目に#312松本がとらえ3番手に上がる。予選6番手・クラス3番手から

スタートの86&BRZクラス#57 86Racers伊藤号 伊藤俊哉が4周目には総合4番手・クラス2番手につけ、#312松本を追うが10週の決勝レースは総合1・3位、各クラストップ争いのバトルが続くまま、#99 小野田が総合トップでチェッカーを受け、86&BRZクラスが#312松本がトップの座を守り切った。レース後総合・JP-2R優勝の#99小野田は「とにかく暑かった!でもとても楽しく走ることができました」と話し、86&BRZクラス優勝の#312松本は「マシンの特性で、コーナリングはこちら、ストレートはあちらのクラスの方が速いのでなかなか苦戦しましたが、アドバンコーナーで前にでたのは相手もわかっていて無理はしなかったです。」と語った。



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	312 松本 晴彦
2	57 伊藤 俊哉
3	53 森田 幸二郎
4	54 田畑 勇
5	88 服部 文雄
6	222 松下 浩平



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge 2R

Rank No.	Name
1	99 小野田 貴敏
2	8 古田 聡



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge 2S

Rank No.	Name
1	50 五十嵐剛木
2	41 池本 繁弘
3	241 鈴木貴大



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge 3S

Rank No.	Name
1	72 堀 舜之
2	133 伊藤 一憲
3	700 梅原 雄一



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge 4S

Rank No.	Name
1	115 三浦亮保
2	15 渡邊 敏康
3	184 SAITO KYOU

ROADSTER CUP 1.5/1.6/1.8/2.0

Round 3



シーズン後半に突入したRSC第3戦が行われた。日曜日のお昼頃に行われた予選では、1.5クラス#23 ASM JOY ND5 山本謙吾が2'10.253でポールポジション。フロントローに並ぶのは同じクラスの#7 JOYアクレMotys ☆ND5 茂木文明2'10.782。3番手には1.8クラストップの#18 SYNTIUM東海車両NB8 小林哲男2'10.950。1.6クラスのトップは総合12番手の#34 Winmax内藤板金AKC NA6 竹田幸一郎2'14.189。1.5チャレンジクラスは総合17番手の#28 pttモタスポ部 四条健の2'17.274がトップからのスタートという結果になっている。この2日間最終レースとなる日曜日の16:30過ぎに決勝がスタート、スタートで若干出遅れたポールの#23 山本の隙をついて上位陣の混戦が続きオープニングラップをトップで戻って来たのは#18 小林、その後も激しいバトルが続き、4周目には#23 山本がその座を奪い返しその後は徐々に後続との差を広げにかかる。

中段グループでは1.5チャレンジクラスの激しいトップ争いが最後まで続き、8週の決勝を総合トップでチェッカーを受けたのは1.5オープンクラスの#23 山本だった。各クラス優勝ドライバーのコメント1.5オープン#23 山本「このクラスももうちょっと台数が出てきてくれないかなあと。1.8クラス、速いですよね」1.6クラス#34 竹田「前でクラス違いの方々がバトルをしていてくれたおかげでスリッパを上手く使えました」1.8 #18小林「予想以上の出来でした。NDを抜けたと思っていなかったし。残り1戦もこの調子で頑張ります」1.5チャレンジ#1 IDSレイルガルフロードスター 菊池峻斗「ハードなレースでした、スタートでは皆様に行かれてしまい3番手になりましたが後半に賭けようと落ち着いて走りました。2台とも上手いことパスできました」と語った。



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト 1.5 Open

Rank No.	Name
1	23 山本 謙吾
2	7 茂木文明
3	14 小倉 徹



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト 1.5 Challenge

Rank No.	Name
1	1 菊池 峻斗
2	38 中村 進
3	0 北田 辰男
4	171 田中 悠太
5	22 藤吉 健一
6	28 四条 健



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト 1.6

Rank No.	Name
1	34 竹田 幸一郎
2	27 野木 強



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト 1.8

Rank No.	Name
1	18 小林 哲男
2	12 石森 聖生
3	2 渡邊 達也
4	91 神谷 誠
5	15 中村 英貴
6	55 澤田 薫